

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

R4

法人名	有限会社 在宅ナースの会	代表者	小菅 勉	法人・事業所の特徴	京浜急行六浦駅から徒歩 5 分、近隣には公園が複数ある閑静な住宅街にあります。 明るい日差しが差し込むダイルームにて「いつもふくふくとした笑顔と笑い声がたえない居心地の良い空間と場所づくり」という理念を目指し業務上での実践を心がけています。通い・宿泊・訪問のサービスを柔軟に組み合わせ 地域の方々の在宅生活の支援をさせていただいています。地域のボランティアさんの協力を受け笑顔の絶えない家庭的な雰囲気です。また調理専門のスタッフによる旬の食材を使った彩り鮮やかな食事や季節行事の特別メニューに利用者の皆様、大変喜んでいただいています。
事業所名	小規模多機能型ハウス ふくふく六浦	管理者	村野 延枝		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1 人	2 人	1 人	1 人	1 人	人	3 人	人	9 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	自己評価について今年度も更に周知を進めていく。 研修委員中心に、参加促進を行っていく。	前年度より早めに評価の各項目についての説明を朝のミーティングを使い繰り返し説明することができた。 研修委員の呼びかけも定着してきたので参加率は安定した。	・よく検討されてまとめられている。 ・かわりシートと事業所評価を読んだだけではわからなかった。	事業所評価の主旨について今年度も説明を繰り返し行う。 社内研修出席については法人として ZOOM を導入し参加しやすい環境を整えている。 スタッフへの参加促進を継続して行っていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	駐車・駐輪スペースの固定遵守。 安全運転の遵守。 室内の環境整備をこまめに行い利用者の活動を安全なものにしていく。 室内装飾を利用者と共に作り達成感・充実感を感じていただくようにする。	敷地内に駐車位置を印すことにより、使用車両の移動が効率よく行うことができた。 季節にあった室内装飾を心がけそれぞれの月ごとにテーマを決めて担当者が中心になり活動できた。	・きれいに整備されていると思う。 ・車の入出庫は変わらず気をつけて行っていきたい。	室内清掃はコロナ感染対策の方法を継続し感染予防に努める。 事業所は坂道の途中にあり、また通学路でもあるため、車の入出庫に関しては細心の注意を払う。
C. 事業所と地域のかかわり	コロナ禍でなにもできないではなく、コロナ禍だから出来る事を探していく。	ボランティア活動の再開に向けて法人内で話し合い、受け入れの条件を定め、活動再開できた。 自治会の催しに参加することができた。	・コロナ禍でできなかった行事を徐々に再開していくので、参加してもらいたい。	工夫を凝らして開催され始めている自治会の催しに参加していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	コロナ禍での生活環境の変化に柔軟に対応することで、利用者の生活を支えていく。	独居の利用者に対して、予防接種の予約実施を行い、自宅での生活を継続できるように支援することができた。	・自治会の行事に参加してもらい今後も地域に密着した活動を心掛けてほしい。	介護保険以外の必要なサービスを積極的に活用し地域での生活を支える。

E. 運営推進会議を活かした取組み	毎年実施できないスタッフの参加を計画し、会議の主旨など理解を深めてもらうようにする。	今年もスタッフ参加が実現しなかったが、会議の翌日に報告を行った。参加ご家族の様子をスタッフに伝えることができた。	・コロナのため書面会議での開催となっていたが、ふくふくさんは対面会議を続けている。 出席することで、意見交換ができた有意義な会議となっている。	会議の内容を翌日に報告することにより、家族の思いや自宅での様子などをスタッフが感じ取れるようにする。
F. 事業所の 防災・災害対策	次年度予定の防災訓練には、地域住民の方々の参加を集い、地域の中のふくふくの存在をもっと深めていく。 開催前には文書にて連絡を行うようにする。	今年度は地域の方へ参加依頼し防災訓練を見てもらうことができた。また事前に文書を配布し、訓練実施について周知することができた。	・訓練参加呼びかけは回覧板を利用して行っています。 ・地域の防災拠点となってほしいです。	訓練実施案内の配布、自治会への訓練への参加依頼を継続していく。 また自治会の訓練等にも積極的に参加していく。